

一般社団法人

日本家族療法学会

第35回 ぐんま大会

新たなる地平をめざして

会期 平成30年8月10・11・12日

会場 ホテルメトロポリタン高崎

10日

● 大会長講演 渡辺俊之

(渡辺医院/高崎西口精神療法研修室/日本家族療法学会 会長)

社会変化と学会創立35周年

座長 福田正人(群馬大学 大学院医学系研究科 神経精神医学 教授)

家族療法の教育と普及のこれから

-新たなる地平をめざして-

シンポジスト

精神医療：斎藤環(筑波大学) 心理臨床：児島達美(KPCL)

福祉：福山和女(日本家族療法学会顧問) 教育：田村毅(田村毅研究室)

司会 後藤雅博(こころのクリニック ウィズ) 石井千賀子(ルーテル学院大学)

発達障害に学校と家族はどう関わるべきか

シンポジスト

成田秀幸(国立重度知的障害者総合施設のぞみの園:診療部長)

上原篤彦(群馬県教育委員会特別支援教育課:課長)

稲岡隆之(群馬県立ぐんま学園:所長)

コメンテーター 吉川悟(龍谷大学) 司会&話題提供 岩崎和子(養護教諭)

一般演題 事例検討 スーパーヴィジョン

研究交流会

(懇親会)

ホテルメトロポリタン高崎

11日

マスターセラピストは

どう学んできたのか

遊佐安一郎(長谷川メンタルヘルス研究所)

相田信男(群馬病院) 中村伸一(中村心理療法研究室)

進行役 渡辺俊之(渡辺医院) 安達映子(立正大学)

臨床へのこだわり

吉川悟(龍谷大学) 東豊(龍谷大学)

村上雅彦(広島ファミリールーム)

まとめ役 坂本真佐哉(神戸松蔭女子学院大学) 五十嵐善雄(ヒッポメンタルクリニック)

公開研修セミナー

(当事者、家族も参加可能)

発達障害と家族

普通とは何か考えながら

講師 溝口健介
(ケンクリニック)

申込みはホームページから
先着 80名限定

12日

一般演題 事例検討 スーパーヴィジョン

7つのワークショップ

1. 家族療法の学び方 中村伸一
2. ヘルピングスキル -家族等への支援の学び方- 遊佐安一郎 平岡篤武 西田泰子 中垣真通 望月美穂
3. 学校現場に役立つ家族療法 -SCと保健室が連携して発達障害や不登校の子どもと家族を元気にする- 田村毅 村上雅彦 岩崎和子
4. パイオソーシャルアプローチ -ライフサイクルとチーム医療- 渡辺俊之 上別府圭子 児島達美
5. 児童虐待が子ども・若者の心に与える影響とどう取り組むか -アタッチメントの理解を通じて考える- 森野百合子 北島歩美 岡本吉生 大塚斉 大瀧玲子
6. ナラティブ最前線 -グラフィック・メディスン入門- 小森康永 団士郎 安達映子
7. 家族療法の基本とスピリチュアルな方法の導入 東豊

連絡先: 〒370-0849

高崎市八島町17 イシビル3F
渡辺医院/高崎西口精神療法研修室内
第35回ぐんま大会事務局

メール: jaft35th@gmail.com

大会ホームページ

<http://jaft2018.p2.weblife.me/>



一般社団法人

日本家族療法学会 第35回 ぐんま大会

新たなる地平をめざして

大会長 渡辺俊之 渡辺医院/高崎西口精神療法研修室
日本家族療法学会 会長



大会長講演 8月10日 (9:30~10:30)

社会変化と学会創立35周年

座長 福田正人 (群馬大学 大学院医学系研究科 神経精神医学 教授)

大会企画2 (8月10日 13:40~15:10)

発達障害に学校と家族は どう関わるべきか



大会企画1 (8月10日 10:40~12:40)

家族療法の教育と普及のこれから

—新たなる地平をめざして—

精神医療: 斎藤環 (筑波大学/精神科医)
心理臨床: 児島達美 (KPCL/臨床心理士)
福祉: 福山和女 (JAFT顧問/ソーシャルワーカー)
教育: 田村毅 (田村毅研究室/精神科医)
司会 後藤雅博 (こころのクリニック ウィズ) 石井千賀子 (ルーテル学院大学)

成田秀幸 (国立重度知的障害者総合施設のぞみの園: 診療部長)
上原篤彦 (群馬県教育委員会特別支援教育課: 課長)
稲岡隆之 (群馬県立ぐんま学園: 所長)

コメンテーター 吉川悟 (龍谷大学)
司会&話題提供 岩崎和子 (養護教諭)



大会企画3 (8月11日 9:00~11:00)

マスターセラピストは どのように学んできたのか 3人はどのようにして「今」に到達したのか



大会企画4 (8月11日 15:20~17:20)

臨床へのこだわり

「こだわること」にこだわる3人のセラピスト

吉川悟 (龍谷大学)
東豊 (龍谷大学)
村上雅彦 (広島ファミリールーム)
まとめ役 坂本真佐哉 (神戸松蔭女子学院大学)
五十嵐善雄 (ヒポメンタルクリニック)



遊佐安一郎 (長谷川メンタルヘルス研究所)
相田信雄 (群馬病院)
中村伸一 (中村心理療法研究室)
進行役 渡辺俊之 (渡辺医院) 安達映子 (立正大学)

会期: 平成30年8月10日11日(大会) 8月12日(ワークショップ)

会場: ホテルメトロポリタン高崎 (群馬県高崎市八島町222 JR高崎駅6F)

連絡先: 〒370-0849 高崎市八島町17 イシイビル3F
渡辺医院/高崎西口精神療法研修室内 第35回ぐんま大会事務局

メール: jaft35th@gmail.com

大会ホームページ <http://jaft2018.p2.weblife.me/>

公開研修セミナーとワークショップの詳細は裏をご覧ください



自主シンポジウム 14 の魅力あるテーマ

- ① 「人としてのセラピスト(Person of the Therapist: POTT)養成モデル」をめぐる学びと対話～これからの公認心理師・臨床心理士の養成に向けて～
- ② リフレクティング・プロセスのパースペクティヴ
- ③ 「家族療法の教育と普及のこれから」に関するオープン・ダイアローグ
- ④ 「さまざまな家族の問題を『あいまいな喪失』の視点から考える」
- ⑤ 女性のひきこもり・生きづらさについて考える
- ⑥ 精神科開業医は家族療法をどう活用すべきか
- ⑦ 地域の子どもと家族に対する官学連携にむけた発達・子育て支援～玉村町プロジェクトの試み～
- ⑧ 対象関係論的家族療法の臨床活用
- ⑨ 犯罪臨床における家族支援
- ⑩ ソーシャルワークにおける家族療法を一緒に考えてみませんか！
- ⑪ 学術誌に投稿しよう
- ⑫ 家族療法の理論や技術をソーシャルワークに統合することの意義・価値はなにか
- ⑬ プライマリ・ケアにおける家族志向のケア～家族療法の新たなニーズがここに～
- ⑭ 家族療法における種々のポジティブ・アプローチを臨床に活かす～SFA, P 循環, 未来語りのダイアローグ, ワンダフルネス・インタビューの比較を通して

8月12日(日曜日)

一般社団法人 日本家族療法学会主催 ワークショップ

1. 家族療法の学び方 中村伸一(中村心理療法研究室)
2. ヘルピングスキル 家族等への支援の学び方 遊佐安一郎(長谷川メンタルヘルス研究所) 平岡篤武(常葉大学) 西田泰子(常葉大学短期学部) 中垣真通(子どもの虹情報研修センター) 望月美穂(静岡県東部児童相談所)
3. 学校現場に役立つ家族療法: SC と保健室が連携して発達障害や不登校の子どもと家族を元気にする 田村毅(田村毅研究室) 村上雅彦(広島ファミリールーム) 岩崎和子(前橋市立天川小学校)
4. バイオサイコソーシャルアプローチ ライフサイクルとチーム医療 渡辺俊之(渡辺医院) 上別府圭子(東京大学) 児島達美(KPCL)
5. 児童虐待が子ども・若者の心に与える影響とどう取り組むか アタッチメントの理解を通じて考える 森野百合子(東京都立小児総合医療センター) 北島歩美(日本女子大学) 岡本吉生(日本女子大学) 大塚齊(武蔵野児童学園) 大瀧玲子(日本女子大学)
6. ナラティブ最前線 グラフィック・メディスン入門 小森康永(愛知県がんセンター) 団士郎(仕事場 D・A・N) 安達映子(立正大学)
7. 家族療法の基本とスピリチュアルな方法の導入 東豊(龍谷大学)

一般演題

臨床や研究のヒントになる演題が 17 題

事例検討

家族支援や家族療法の事例を検討し、事例提供者と一緒に事例についての理解や考察を深めましょう。

スーパーヴィジョン

日本家族療法学会認定スーパーヴァイザーによる公開スーパーヴィジョンです。家族療法の理論とスキルの上向上にスーパーヴィジョンは不可欠です。



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」 許諾第29-100825

8月11日(土曜日)

公開 研修セミナー

当事者や家族、対人援助職の方も参加できます。
(ネットでの事前参加申込みが必要です。定員 80 名まで)

発達障害の基礎と家族の対応について学べるセミナーです。

講演テーマ **発達障害と家族** 普通とは何か考えながら

講師: 溝口健介(ケンクリニック)

司会: 森野百合子(東京都立小児総合医療センター)